

IPD事業のメリット

2026年6月23日 研修委員会

1. IPD事業の目的と狙い

- 事業の目的は、技術士を目指す修習技術者が求められる資質能力を効果的に獲得できるよう支援すること
- 事業の狙いは、生涯にわたり一貫した整合性のある技術研さんを行うため、修習技術者が実践するIPDについて、CPDと同様に証跡のある活動記録として統合管理できる環境を提供すること
- その具体手段として「IPDシステム」を構築しサービスを開始

2. IPD事業により得られる効果（メリット）

◆ IPD事業参加者（修習技術者）のメリット

— できること —

— 得られる効果（メリット） —

● 研さん機会の獲得

- ✓ 日本技術士会が提供する広範で多様な講習会等へ参加できる



- ▶ 場所・時間・分野に縛られず**多様な研さん機会**が得られる
- ▶ **人脈形成、コミュニケーション機会**が得られる
- ▶ 実社会の**リアリティある問題・課題**が理解できる
- ▶ 技術士と同様な視座での**課題共有、実践・応用的解決方法なども経験**できる

● 研さんの「見える化」・「記録」

- ✓ IPD 活動実績を記録・閲覧できる



- ▶ 自らの**研さんが記録できる、学びを客観的に把握**でき・振り返りなどできる
- ▶ 研さん内容・資質バランスの**偏重改善、弱点発見**につながる

● 研さんの履歴の明示・証明

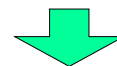
- ✓ IPD 活動実績を証明できる



- ▶ 「修習技術者として何を研さんしたか」について**具体的な研さん内容・時間など明示・証明**できる



社会・技術課題の理解促進、効果的な技術獲得、キャリア・成長の明示・証明
技術者として成長加速 → **技術士資格取得の早期化**



◆ 日本技術士会のメリット

- ▶ 「生涯にわたり一貫した整合性のある**技術研さん**」の実践的推進
- ▶ 修習技術者～技術士 の**シームレスなサービス提供、会員増加**
- ▶ **技術士の資質の維持・向上**

◆ 社会的なメリット

- ▶ **科学技術立国を支える技術者の確保**
- ▶ **優秀な技術士による実践的な技術サービスの向上**
- ▶ **国際通用性の高い技術士の確保、国際競争力の向上など**

以上